

株式会社サン・グリーンは、昭和61年に株式会社セビアのグループ企業として創業した青果物の加工会社です。

大崎工場は、おでん用大根の加工工場として、平成5年に本町益丸の地に設立されました。

本社は福岡県北九州市で、北海道北斗市に函館工場をおき、両工場で主力製品の『おでん用大根』を製造しています。

販売先は、日本一の店舗数を誇るセブン・イレブンジャパンで、生産された製品は、その国内すべての店舗（平成23年12

月末現在 1万3521店舗）に出荷しています。

原料となる大根は、全量契約栽培です。地元大崎町の農家を中心に、大隅・財部地区の農家とJAそお鹿兒島と共同で、『おいしい、安全なおでん用大根』の栽培・育成に取り組んでいます。

また、工場では、創業以来『安全・安心・信頼』をモットーに、『おいしさを大地から食卓に』の理念の下、顧客の要望に応えるべく品質の管理と創造豊かな開発に取り組んでいます。

大崎工場のおでん用大根の製造は例年、11月中旬から7月上旬までです。大根の収穫の終了とともに、おでん用大根の製造は終了し、函館工場へと生産を引き継ぎます。

同工場では、おでん用大根の他にも、大根おろし、乾燥大根を製造し、全国へ出荷しています。

従業員は最盛期には100名を超えますが、社員は10名ほどだそうです。社員以外の従業員は社内では『パートナー』と呼ばれています。パートナーとは、従業員皆が社長のパートナーであり、経営を担う一員という意味だそうです。人が企業を創るといふ信念から、取り組まれているそうです。

森永敦工場長は「この地で19年間、セブン・イレブンへの製品の供給が継続できているのは、住民の皆様が『安心・安全・信頼』を評価していただいているからだと考えています。是非、この大崎から、全国へ展開している、おでん用大根を食べてみてください。」と話されました。

森永敦工場長は「この地で19年間、セブン・イレブンへの製品の供給が継続できているのは、住民の皆様が『安心・安全・信頼』を評価していただいているからだと考えています。是非、この大崎から、全国へ展開している、おでん用大根を食べ

てみてください。」と話されました。



会社概要

事業内容

○おでん用大根製造

設立 平成5年10月（大崎工場）

従業員数 10名

所在地 大崎町益丸714



▲原料大根は契約圃場で栽培されます。



▲契約農家から入庫したおでん用大根



▲自動で洗浄・皮むき・スライスの後、厳しい目で選別されます。



▲どのような大根もスチーマーで規格に適した硬度に調理します。



▲このような姿で翌日に全国へ出荷されます。